

東大和市立第一中学校学校だより



かがやき

水と緑の花咲く学び舎 第一中学校

令和6年12月16日 8号  
校長 立川 裕  
電話 042-561-2326

## 感動と希望の瞬間 ～小田選手の金メダルと被団協のノーベル平和賞～

副校長 西当 正敏

令和6年(2024年)があと2週間で終わります。夏にはパリオリンピック・パラリンピックでたくさんのメダルを獲得したり、20年ぶりに新札が発行されたりと今年も様々なことがありました。その中から2つのことを紹介します。

「やばい……カッコよすぎる、俺」

パリパラリンピックの車いすテニス男子シングルの小田凱人選手(18歳)がフルセットの末、歴史に残る大逆転劇でこの種目で史上最年少の金メダリストとなったとき、感極まって残した言葉です。愛知県一宮市で生まれ育った小田選手は、9歳のときに左脚に骨肉腫を発症し、左脚の股関節と大腿骨の一部を切除、人工関節に置き換える手術を受けました。その影響で車いすでの生活となり、失意に打ちひしがれていた時、病室のテレビ越しに見たレジェンドが勇気と希望を与えてくれたのです。2012年のロンドンパラリンピック、北京大会に続く連覇を達成した国枝慎吾さんです。その勇姿に魅せられ、いつかは自分も同じ競技の道を歩んでいく夢が見つかりました。新たな目標が見つかったからこそ、2度におよぶがん細胞の肺への転移も乗り、10歳で車いすテニスを本格的にはじめると、2021年4月には史上最年少の14歳でジュニア世界ランキング1位に。翌年のプロ転向後は、すでに四大大会を4度も制覇しています。決勝の前夜に正夢を見たと、小田選手はフラッシュインタビューで明かしています。「今日寝ているときにお母ちゃんと抱き合って、寝過ごしてわっと起きて『何だ、夢か』と思ってマジできつくて。まだ(夢か現実の)どちらかわからないです」

2024年のノーベル平和賞は、被爆者の立場から核兵器廃絶を訴えてきた被団協＝日本原水爆被害者団体協議会が受賞しました。核兵器のない世界を実現するための努力と核兵器が2度と使用されてはならないことを証言によって示してきたことが受賞理由となっています。日本のノーベル平和賞受賞は、1974年の佐藤栄作元総理大臣以来、50年ぶりです。被団協は、広島や長崎で被爆した人たちの全国組織で、原爆投下から11年後の1956年に結成されました。当時は、日本のマグロ漁船、「第五福竜丸」の乗組員が、太平洋のビキニ環礁で行われたアメリカの水爆実験で被ばくしたことをきっかけに国内で原水爆禁止運動が高まりを見せていました。被団協は、それから68年間にわたり、被爆者の立場から核兵器廃絶を世界に訴える活動や被爆者の援護を国に求める運動を続けてきました。先日のノーベル賞授賞式で代表委員の田中熙巳さんは講演で最後に次のように訴えました。「人類が核兵器で自滅することのないように。核兵器も戦争もない世界の人間社会を求めて共に頑張りましょう。」

## SDGs授業(2年) 11月8日(金)に行いました

総合的な学習の時間で取り組んでいるSDGsについて、2年生はゲストティーチャーをお招きして講演会を行いました。昨年度も講演していただいた株式会社モットイナイ・エナジー代表取締役の西当弘隆氏(副校長先生の弟)です。「『すべての廃熱を電力に仕つくす』～捨てられている熱、そのままはモットイナイ～」という内容で、少しの温度差があれば発電できる熱電発電という技術について中学生にもわかりやすく説明してくれました。



## 校外学習(I組) 12月6日(金)に井の頭自然文化園へいってきました

秋のI組の校外学習は井の頭自然文化園です。全員で自然文化園の学芸員の方から、平成28年(2016年)までこの園で生活していたアジアゾウの「はな子」についてお話しを伺いました。「はな子」は戦後子供たちの要望を受け、昭和24年(1949年)にタイから日本へ来ました。昭和29年(1954年)から井の頭自然文化園で生活していたそうです。今回は特別にゾウ舎の中にも入ることができました。飼育員が掃除しやすいように床が少しだけ斜めになっていたり、逃げ出さないようほりがあったりと、鼻が届く範囲には電線など設置しないよう工夫してあったりしたそうです。その後は班ごとにミッションをクリアしながら園内を散策しました。穏やかな一日でとても楽しい校外学習となりました。



## 落ち葉はきボランティア 12月11日(水)から13日(金)の3日間実施しました。

春の桜はきボランティアとともに生徒会本部主催の落ち葉はきボランティアを12月11日(水)から13日(金)までの3日間行いました。12月になり急に冬の寒い冷え込みが続く3日間でしたが、あるクラスは80%以上生徒が参加してくれました。また13日(金)にはPTAの方々も参加して体育館の東側道路を中心に行いました。



## 歯科講話 13日(金)5,6時間目に行いました

13日(金)の5,6時間目に1年生とI組では学校歯科医をお招きして歯科講話を行いました。歯についてお話しを伺ったあとに染め出しをして実際に歯みがきができるか確認をしました。



## 1212祭り&読み聞かせ 第30回1212祭りを12月14日(土)に行いました

12月14日午後体育館で青少対第一地区の行事である「1212祭り」を行いました。昨年有志生徒を中心に復活した「1212祭り」です。今年はインフルエンザ等感染症のため一小的児童の参加は自粛となりましたが、それでも150名弱の参加がありました。有志生徒と青少対を中心に11のコーナーがつくられ、未就学の小さい子から大人も楽しむことのできる行事となりました。また和地市長と松本副市長もいらしてくれて各コーナーを体験していただきました。最後に吹奏楽部ミニコンサートもあり、楽しいお祭りとなりました。



また昨年と同様に青少対第一地区ボランティアによる読み聞かせも10月にI組、11月に3年生の4クラスで実施しました。朝読書の時間の短い間ですが、真剣にお話しを聞いていました



## おしらせ

11月より2月まで生徒最終下校時刻が18時となります。部活動を終えて18時だと完全に暗いですよね。暗い中で下校するときはなるべく多くの人と帰るようにしましょう。ただし道や歩道いっぱい広がって歩くことのないようにしてください。そしてこの夕方の時間に自転車で出かける場合には必ず自転車のライトをつけるようにしてください。実は車からはこの夕方の時間は非常に周辺が見にくくなるのです。そして自転車を発見するのはライトの明かりは手掛かりとなります。被害者にならないためにも面倒かもしれませんがライトをつける習慣を身につけていきましょう。自転車事故は11月、12月は多くあります。夕方の時間早めのライトの点灯を心がけてください。また道路交通法の一部改正により令和5年4月1日からヘルメットの着用努力義務が課されました。本校でも今年度自転車事故が数件ありました。気をつけましょう。

## 活動等・生徒の活動

令和6年度「税の標語」東大和市長賞

『社会は税で出来ている みんなのために 自分のために』

令和6年度「税についての作文」 多摩納税貯蓄組合連合会入賞

『税の恩恵』

令和6年度「薬物乱用防止標語」

会長賞

優秀賞

<柔道> 第55回 東大和市民スポーツ大会 柔道大会中学生男子の部

優勝

準優勝



## 12・1月の予定

12・1月						1・2月の主な予定
日	曜	学校行事	日	曜	学校行事	
16	月		1	水	学校閉庁日	<b>【1月】</b> 17日 避難訓練 19日から20日 1年スキー移動教室(菅平) 21日 振替休業日(1年) 26,27日 都立推薦入試 27日 生徒会朝礼 29日 研修会 31日 都立推薦入試発表  <b>【2月】</b> 5日 一中学区研修会 6日 専門委員会 7日 校外学習(2年) 10日 生徒会朝礼 12日 中教研 14日 劇と音楽の会(I組) 21日 都立一次入試 25から27日 学年末考査
17	火		2	木	学校閉庁日	
18	水		3	金	学校閉庁日	
19	木	I組 マラソン大会	4	土		
20	金	マラソン大会予備日	5	日		
21	土		6	月		
22	日		7	火	冬季休業終	
23	月		8	水	始業式 給食なし	
24	火	給食終 大そうじ	9	木	給食始	
25	水	終業式 給食なし	10	金		
26	木	冬季休業始	11	土		
27	金		12	日		
28	土		13	月	成人の日	
29	日	学校閉庁日	14	火		
30	月	学校閉庁日	15	水		
31	火	学校閉庁日	SC	佐々木先生 毎週火曜日 國本先生 毎週木曜日		

### お知らせ

・年末年始(12/29から1/3)は完全機械警備となり校内への立ち入りはできません。命に関わるような緊急事態など保護者から学校へ緊急に連絡が必要な場合は、市役所代表電話**042(563)2111**へ問い合わせください。